

耐震化率について

聖徳大学・聖徳大学短期大学部では、将来発生が予測される南海トラフ地震等の震災から学生、教職員等の生命財産を守るため、全学を挙げて校舎の耐震化に努めております。

聖徳大学・聖徳大学短期大学部のキャンパスには1号館、2号館、3号館、5号館、6号館、7号館、8号館、9号館、10号館の合計9棟の校舎があります。令和元年度において本学最大規模の校舎である7号館の耐震補強・改修工事が竣工し、耐震化率91.5%になりました。

なお、上記の他、キャンパスから離れた地に研究所施設等があり、これを含めた耐震化率は、令和2年4月1日現在84.5%になります。

こうした建物についても、今後建て替え等の対応方策を検討し、学生、教職員等の安全安心を確保するため、鋭意取り組んで参ります。